

平成 26 年(2014 年)3 月 26 日

一級河川鴨川およびその周辺における木くずの
不法投棄事案について

滋賀県 琵琶湖環境部
土木交通部

- 1 鴨川河川敷および周辺地域にかかる安全・安心メッセージ
について
- 2 対応経過および今後の対応について

1 鴨川河川敷および周辺地域にかかる安全・安心メッセージについて

平成 26 年 3 月 26 日

鴨川河川敷および周辺地域にかかる安全・安心メッセージ

滋 賀 県

鴨川の河川敷およびその隣接地に放射性物質によって汚染された木くずが不法投棄されていたことから、地元住民をはじめ多くの県民の皆様にご心配をおかけしました。

皆様に少しでも早く安心していただけるように、これまで木くずの撤去を最優先に取り組み、3月4日に撤去・整地作業が終了し、この状況を確認するため、放射能濃度等の検査を実施しました。

その結果は、以下のとおり平常値と変わらず、木くずの適切な撤去が確認されたこと、また、周辺地域における環境調査結果から、木くずに由来する影響は認められなかったことから、本日、皆様にその安全性を改めてお伝えし、ご安心いただくようお知らせします。

1 鴨川河川敷の状況

木くずの撤去が適切に行われたかどうかを確認するため、土壌の放射能検査と空間線量率の測定を行いました。

その結果、土壌は原子炉等規制法で「放射性物質として扱う必要がないもの」と定められている 100 ベクレル/kg を大きく下回り、県内の土壌検査結果と比較しても同程度です。空間線量率は、高島市内の近傍の地点と同程度で異常が認められないことから、木くずの撤去作業は適切に行われたものと判断しています。

2 周辺地域の状況

(1) 環境モニタリング結果

昨年10月以降、河川水、魚、水道水の放射能検査および鴨川の対岸など周辺地域の空間線量率の測定を実施してきました。

これまでの調査で、河川水、魚、水道水から放射性セシウムは検出されず、また、空間線量率についても、高島市内の近傍の地点と同程度であり、木くずによる影響は認められませんでした。

(2) その他の検査結果

昨年の9月に周辺地域で生産された玄米とかんがい用水を、今年3月に鴨川周辺の農地の土壌とかんがい用水を検査しましたが、玄米とかんがい用水では、放射性セシウムは検出されず、農地の土壌についても県内の土壌検査の結果と比較しても低く、安全が確認できました。

2 対応経過および今後の対応について

(1) 経過 (H25.12.7以降)

H25.12.14	復旧作業の開始。
12.24	門扉側から琵琶湖側に向かって、木くずの回収・袋詰めを開始
H26.1.6	木くずの搬出開始
2.23	放射能検査のため河川管理用通路等の土壌採取、空間線量率を測定
2.26	木くずの撤去作業終了、土壌採取(再検査)
2.28	市・地元代表へ現地公開するとともに土壌を採取、併せて土壌検査結果を公表
3.3	2.28の土壌検査結果、空間線量率を公表 市民団体への現地公開
3.4	整地完了 刑事告発
3.7~3.14	魚類、灌漑用水、水道水、農地の土壌放射能検査を実施

(2) 刑事告発について

廃棄物処理法および河川法違反の疑いで、3月4日に滋賀県警察本部に告発状を提出し、3月5日に受理されました。

① 行為の概要

被告発人は、平成25年3月15日ころから同年4月30日ころまでの間一級河川鴨川河川管理用通路他において、次の違法行為を行った疑いがある。

ア 産業廃棄物である木くず合計約310m³を、通路の不陸の整備を装い、長さ約573m、幅員最大約4.9m、厚さ最大約0.27mに亘って敷き均すなどにより、廃棄物の不法な投棄を行った。

イ 河川の管理者である滋賀県知事の許可を受けず、かつ法定の除外事由がないのに、廃棄物である木くずを敷き均し、河川区域および河川保全区域の土地の形状変更を行った。

② 違反の事実

上記①の行為は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第16条(廃棄物のみだり投棄禁止)違反、ならびに河川法 第27条第1項(土地の掘削等の許可)および同法第55条第1項第1号(河川保全区域の行為の制限)違反に該当する。

③ 被告発人について

調査した事実関係から、行為を行ったと疑われる者 3名

(3) 今後の対応について

① 再発防止に向けて

ア 河川管理における危機管理意識

放射能汚染が疑われる木くずの搬入について、4月に住民から通報があったが、その時点では空間放射線量を測定したのみで異常値ではないと判断し、木くず自体の放射能濃度の測定を行わなかった。

今回の事案を受けて、河川管理を担当する職員は、常に最悪の事態を想定し、高い危機管理意識を持って、河川管理にあたるよう周知徹底を図っている。

イ 河川管理用通路等における侵入防止のための鍵の貸出と管理

今回の事案では、河川管理用通路の門扉の鍵を長期間貸し出していたにも関わらず、現地確認を行っていなかったため、住民の通報により職員が現地を確認するまで、木くずの不法投棄を防止することができなかった。

また、簡単な手続きで鍵を貸し出していたため、鍵の借受け者の情報が十分ではなく、河川法に基づく原状回復指示を行うまでに相当な期間を要した。

このため、「河川管理用通路等の鍵貸出要領」を定め、借用目的を記載した借用書の提出、借用希望者の本人確認、鍵を何度も借り受けるなど不審な点がある場合は現地を確認する等、鍵の貸出について厳格化を図った。

ウ 河川巡視

今回の事案では、住民の通報により職員が現地を確認するまで、不法投棄を発見することができなかった。

不法投棄等の違法行為を早期に発見するため、河川管理指導員や河川管理パートナー等により、人目の届きにくい琵琶湖の湖辺等や不法投棄の温床となりやすい箇所について、重点的に巡視することとした。

エ 不法投棄等の防止対策

- ・ 不法投棄の早期発見に向けて、県の関係機関、市町、警察署で構成する地域ごみ対策会議において、各地域で不法投棄が懸念される場所を重点監視対象として設定し、県環境事務所が重点的なパトロールを実施する。
- ・ 今回の事案を踏まえて、不法投棄等の事案発見時の初動調査マニュアルを見直し、放射能汚染に関する調査を加える。

- ・ 早期発見・早期対応による事案の解決を図るため、産業廃棄物不法投棄110番（TEL0120-79-3853）について、より幅広く不審な行為の段階でも通報していただけるよう周知を図る。

② 事案の総括

今後、警察の捜査の進捗状況を考慮し、事案の経過や撤去作業の内容、これらに対する県の対応、今後の再発防止策などを含む事案の総括を行う。

完了写真(3月4日)

門扉から50m地点



門扉から250m地点



門扉から450m地点





資料編

放射能検査・空間線量率測定の結果および評価

1. 鴨川河川敷の状況

(1) 土壌の放射性セシウム濃度

- ・撤去後の放射性セシウム濃度は、原子炉等規制法で「放射性物質として扱う必要がないもの」と定める 100 μ クレル/kg を大きく下回っている。
- ・県内4箇所、H15年度～18年度に測定された土壌の調査結果^(※1) 1.36～38.7 μ クレル/kg と比較しても同程度である。

採取日	試料名	検査数	検査結果(単位： μ クレル/kg)
H25.9.6	木くず下の土壌	10	検出せず～60
	河川敷土手の土壌	10	検出せず
	河川底質	2	検出せず
H26.2.23, 2.26 2.28, 3.4	木くず撤去後の土壌	39	検出せず～24

木くず撤去前：「データ編」表1、図1参照；撤去後：「データ編」表2、表3参照

※1 県原子力防災室(当時：総合防災課)が実施した土壌の調査結果(セシウム-137を調査)

調査地点	旧マキノ町	旧今津町	旧余呉町	旧西浅井町
放射能濃度(μ クレル/kg)	2.41～15.6	6.50～12.2	1.36～2.01	4.77～38.7

(2) 空間線量率

- ・木くず撤去後の空間線量率は、ICRP(国際放射線防護委員会)の勧告値をもとに環境省が示している追加空間線量率 0.23 μ Sv/h と比較して低い値であった。
- ・高島市内の近傍の地点の空間線量率 0.054～0.15 μ Sv/h (「データ編」表7、図4参照)と比較しても同程度であった。

測定日	測定箇所数	測定結果(単位： μ Sv/h)	備考
H25.9.11	11	0.098～0.41	木くず撤去前
H26.2.23と2.28	53	0.084～0.13	木くず撤去後
H26.3.14	11	0.096～0.13	整地後

空間線量率：「データ編」表4参照

2. 周辺地域の状況

(1) 環境モニタリング結果

① 水道水、河川水および琵琶湖水の放射性セシウム濃度

- ・これまでの検査で放射性セシウムは検出されず、問題はない。

採取日	試料名	検査数	検査結果	備考
H25.9.12	水道水	2	検出せず	打下と比良浄水場浄水
H25.9.6	鴨川河川水	5	検出せず	
H25.9.9	琵琶湖水	4	検出せず	
H25.10.28~H26.3.10	水道水	6	検出せず	打下浄水場浄水を毎月検査
H25.10.1~H26.3.4	鴨川河川水	12	検出せず	鴨川2箇所隔週検査

水道水:「データ編」表 12、表 13 参照;鴨川河川水:「データ編」表 12、表 13、図 5 参照
琵琶湖水:「データ編」表 11 参照

② 魚類の放射性セシウム濃度

- ・放射性セシウムは検出されず、問題はない。

採取日または期間	検査数	検査結果	備考
H25.9.12	5	検出せず	鴨川河口周辺で採取
H25.10.21~H26.3.11	8 (8回)	検出せず	鴨川河口周辺または安曇川町沖で採取、環境モニタリングは毎月実施

魚:「データ編」表 12、表 13 参照

③ 空間線量率

- ・周辺地域の空間線量率は、追加空間線量率 $0.23 \mu\text{Sv/h}$ と比較して低い値であり、高島市内の近傍の地点の空間線量率 $0.054 \sim 0.15 \mu\text{Sv/h}$ (「データ編」表 7、図 4 参照) と比較しても同程度であった。
- ・周辺3箇所での継続測定結果では、いずれの地点でも変動はなく、また、木くずの撤去前後で差はみられないことから、木くずの周辺地域への影響は認められない。

測定日または期間	測定箇所数	測定結果(単位: $\mu\text{Sv/h}$)	備考
H25.9.9	7	0.058~0.10	
H25.10.8~ H26.3.14	3	① 鴨川左岸門扉前 0.060~0.094 ② 横江浜園地 0.060~0.088 ③ 鴨川右岸住宅地 0.11~0.13	隔週で計 15 回測定

空間線量率:「データ編」表 5、表 6、図 2、図 3 参照

(2) その他の検査結果

- ・米とかがい用水からは、放射性セシウムは検出されず、問題はない。
- ・農地の土壌については、3箇所では放射性セシウムが検出されたが、100ベクレル/kg を大きく下回っており、県内4箇所において測定された土壌の調査結果^(前記※1)と比較しても低く、問題はない。

採取日	試料名	検査数	検査結果	備考
H25.9.8 ～9.11	玄米	6	検出せず	琵琶湖からの逆水を用意として利用している受益区域の農地の米
H25.9.12	かがい用水	1	検出せず	鴨川流域土地改良区鴨川第1段揚水機場の吸水槽の水
H26.3.7	農地の土壌	5	検出せず～ 6ベクレル/kg	鴨川周辺における農地の土
H26.3.10	かがい用水	1	検出せず	H25.9と同じ

米:「データ編」表8参照; 農地の土壌:「データ編」表9参照;
かがい用水:「データ編」表10参照

3. 今後の環境モニタリング

周辺住民の皆様にご安心いただけるように環境モニタリングを以下のとおり継続する。結果については県のホームページへ掲載するとともに、地元区へも資料を配布してお知らせする。

- ・期 間 平成26年6月まで
- ・項 目 鴨川河川水(3箇所)、魚類(鴨川河口付近)、
空間線量率(周辺地域3箇所)
- ・頻 度 毎月実施

データ編

表1. 鴨川河川敷管理用通路における平成25年9月6日採取の土壤検体の検査結果

0-5cmの土壤 (Bq/kg)	採取地点	D1(BG)	D2	D3	D4	D5	T1	T2	T3	T4	T5
放射性セシウム		検出せず (<6.4)	検出せず (<7.5)	検出せず (<8.4)	検出せず (<7.1)	検出せず (<6.6)	検出せず (<6.2)	4	検出せず (<6.0)	検出せず (<7.0)	60
5-15cmの土壤 (Bq/kg)	採取地点	D1(BG)	D2	D3	D4	D5	T1	T2	T3	T4	T5
放射性セシウム		検出せず (<6.5)	検出せず (<6.8)	検出せず (<6.5)	検出せず (<7.2)	検出せず (<6.3)	採取不可	検出せず (<5.4)	検出せず (<7.2)	採取不可	検出せず (<5.6)
土壤 (Bq/kg)	採取地点	S1	S2								
放射性セシウム		検出せず (<5.7)	検出せず (<5.8)								

※D:土手の土壤、T:木くず直下の土壤、S:河口の河川底質土壤

※採取地点は地図を参照

※BGはバックグラウンドとして採取したことを指す。

表2. 平成26年2月23日、26日の鴨川河川敷管理用通路の土壤の検査結果

鴨川管理用通路表層土壤 (Bq/kg)				
採取場所 (門扉からの距離)	2月23日		2月26日	
	放射性セシウム	含水率 (%)	放射性セシウム	含水率 (%)
10m	検出せず (<5.7)	4.3		
30m	10	7.5	検出せず (<6.1)	3.4
50m	検出せず (<6.3)	4.5		
70m	4	6.2		
128m	6	8.7		
130m	検出せず (<6.4)	6.5		
150m	検出せず (<6.3)	5.4		
170m	検出せず (<5.7)	3.9		
230m	検出せず (<6.2)	5.6		
250m	検出せず (<5.9)	5.1		
270m	検出せず (<6.1)	4.6		
330m	検出せず (<5.5)	3.2		
350m	検出せず (<6.3)	5.0		
370m	3	4.1		
410m	検出せず (<6.2)	5.9		
430m	検出せず (<6.5)	5.2		
470m	検出せず (<5.5)	3.6		
510m	7	6.2		
530m	4	6.8		
550m	13	5.3	検出せず (<6.5)	6.8
570m	9	6.0		
575m付近	検出せず (<6.2)	6.2		
582~590m	8	6.0		
590~600m	検出せず (<6.7)	3.7		
625~638m	19	8.4	検出せず (<6.5)	7.2

表3. 平成26年2月28日、3月4日の鴨川河川敷管理用通路の土壤の検査結果

鴨川管理用通路表層土壤 (Bq/kg)				
採取場所 (門扉からの距離)	2月28日		3月4日	
	放射性セシウム	含水率	放射性セシウム	含水率
門扉手前 2.5m	24	9.3	検出せず (<5.1)	4.9
90m	8	7.4		
215m	3	6.9		
285m	6	9.9		
390m	3	9.5		
490m	5	9.3		
545m	10	6.0		
600m	4	4.6		
623m	6	6.3		
633m	検出せず (<5.5)	6.3		

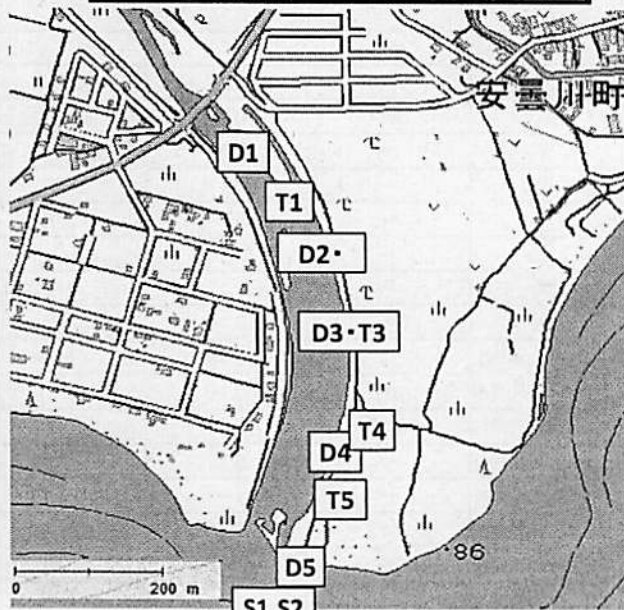


図1. 9月6日に採取した土壤の採取地点
 ※以降使用する地図は、国土地理院が提供している地理院地図を基に作成されている。

表中()内の数値:検出限界値

表4. 鴨川河川敷の管理用通路における空間線量率の測定結果

門扉からの距離 (m)	敷設されていた チップの色等	9月11日測定 (地上1mで測定) ($\mu\text{Sv/h}$)	2月23日測定 (地上1mで測定) ($\mu\text{Sv/h}$)	2月28日測定 (地上1mで測定) ($\mu\text{Sv/h}$)	3月14日測定 (地上1mで測定) ($\mu\text{Sv/h}$)
門扉手前2.5m	-	-	-	0.11	-
10	黒	-	0.084	-	-
20	黒	0.37	0.11	-	0.098
30	黒	-	0.11	-	-
50	黒	-	0.10	-	-
70	黒白	-	0.11	-	-
90	白	-	0.11	0.10	-
100	白	0.098	0.12	-	0.11
110	白	-	0.11	-	-
130	白	-	0.12	-	-
150	白	-	0.12	-	-
170	白黒	-	0.11	-	-
190	黒	-	0.11	-	-
200	黒	0.30	0.11	-	0.10
210	黒	-	0.12	-	-
215	黒	-	-	0.11	-
230	黒	-	0.11	-	-
250	黒	-	0.10	-	-
270	黒	-	0.11	-	-
285	黒	-	-	0.11	-
290	黒	-	0.11	-	-
300	黒	0.28	0.11	-	0.11
310	黒	-	0.11	-	-
330	黒	-	0.10	-	-
350	黒白	-	0.12	-	-
370	白	-	0.12	-	-
390	白	-	0.12	0.13	-
400	白	0.098	0.13	-	0.13
410	白	-	0.12	-	-
430	白	-	0.11	-	-
450	白	-	0.11	-	-
470	白黒	-	0.11	-	-
490	黒	-	0.12	0.12	-
500	黒	0.41	0.11	-	0.11
510	黒	-	0.11	-	-
530	黒	-	0.11	-	-
545	黒	-	-	0.11	-
550	黒	-	0.10	-	-
570	黒	-	0.11	-	-
573	黒	0.13	0.11	-	0.11
575	土のうねのあった場所	-	0.11	-	-
585	土のうねのあった場所	-	0.10	-	-
590	土のうねのあった場所	0.13	0.11	-	0.11
597	土のうねのあった場所	-	0.11	-	-
600	土のうねのあった場所	-	-	0.12	-
608	土のうねのあった場所	0.12	0.10	-	0.096
623	土のうねのあった場所	-	-	0.11	-
633	土のうねのあった場所	-	-	0.092	-
638	土のうねのあった場所	0.12	0.10	-	0.10
650	最終地点	0.11	0.094	-	0.096

表5. 周辺住宅地等の生活環境における空間線量率の測定結果(平成25年9月9日測定)

場所	空間線量率
入口	0.088
①	0.074
②	0.076
③	0.070
④	0.10
⑤	0.058
⑥	0.060

※単位は(μSv/h)



図2. 平成25年9月9日の空間線量率の測定における測定

表6. 環境モニタリングにおける空間線量率の測定結果

測定日	河川管理用通路の門扉前	高島市安曇川町横江浜園地付近	鴨川河川管理用通路の対岸(安曇川町下小川)
平成25年9月9日	0.088	0.074	-
平成25年10月8日	0.092	0.068	0.12
平成25年10月15日	0.086	0.064	0.11
平成25年10月22日	0.076	0.060	0.11
平成25年11月5日	0.082	0.080	0.12
平成25年11月19日	0.086	0.076	0.12
平成25年12月3日	0.094	0.074	0.11
平成25年12月17日	0.088	0.070	0.11
平成25年12月27日	0.090	0.074	0.13
平成26年1月14日	0.078	0.070	0.11
平成26年1月28日	0.074	0.068	0.11
平成26年2月10日	0.070	0.066	0.11
平成26年2月25日	0.082	0.076	0.11
平成26年3月14日	0.060	0.088	0.12

※単位は(μSv/h)

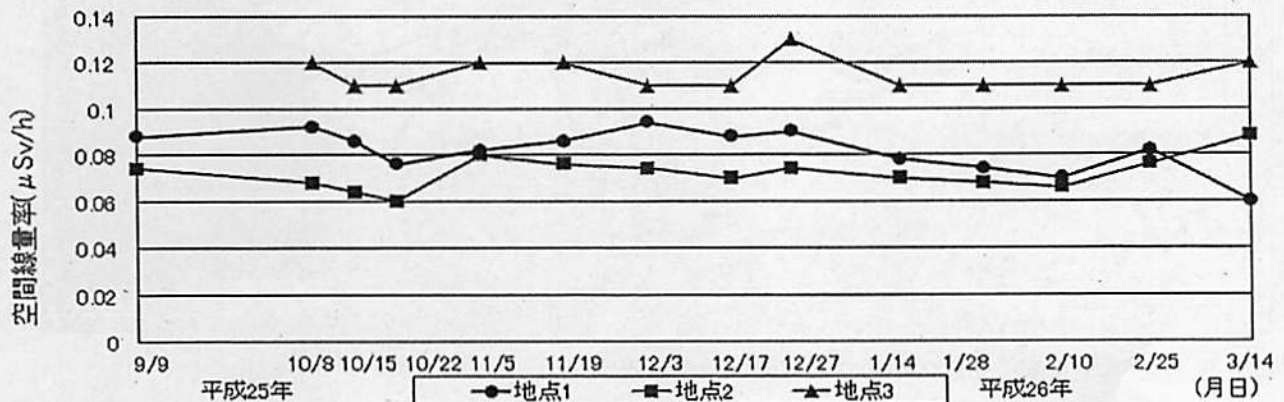


図3. 空間線量率の測定結果の時系列グラフ

表7. 旧高島町内・旧安曇川町内等の空間線量率測定結果

測定日:平成26年2月17日

地点番号	場所名	土地利用	空間線量率 (μ Sv/h)	備考
1	勝野、城山台公園	公園	0.15	
2	勝野、高島小学校	グラウンド	0.094	
3	勝野、日吉神社	神社入口	0.10	
4	勝野、関西電力変電所	山林	0.084	
5	音羽、小田川橋下流(右岸)	堤防	0.076	
6	音羽、小田川橋上流(右岸)	竹林	0.092	
7	永田、JR高架上流	竹林	0.11	
8	拝戸、区グラウンド	グラウンド	0.13	
9	高島上(鴨川右岸)	竹林	0.14	鴨川
10	武曾横山(鴨川左岸)、万年橋	竹林	0.088	鴨川
11	宮野(鴨川右岸)	竹林	0.11	鴨川
12	野田(鴨川左岸)中道橋	竹林	0.094	鴨川
13	宿鴨(鴨川右岸)天皇橋	高水敷内竹林	0.12	鴨川
14	出鴨(鴨川右岸)	竹林	0.082	鴨川
15	出鴨(鴨川右岸)	高水敷内	0.11	鴨川
16	北鴨(鴨川左岸)	竹林	0.082	鴨川
17	下小川(鴨川左岸)	竹林	0.098	鴨川
18	下小川出福(鴨川右岸)	竹林	0.096	鴨川
19	安曇川南流右岸、ふなき大橋、北船木	竹林	0.086	安曇川
20	安曇川南流左岸、北船木	高水敷内	0.070	安曇川
21	安曇川左岸、安曇川大橋、新庄	竹林	0.054	安曇川
22	安曇川左岸、常安橋北、安井川	竹林	0.072	安曇川
23	安曇川左岸、大荒比古神社、安井川	竹林	0.056	安曇川
24	勝野、和田打川左岸	高水敷内	0.094	和田打川
25	勝野、和田打川河口	河口	0.098	和田打川

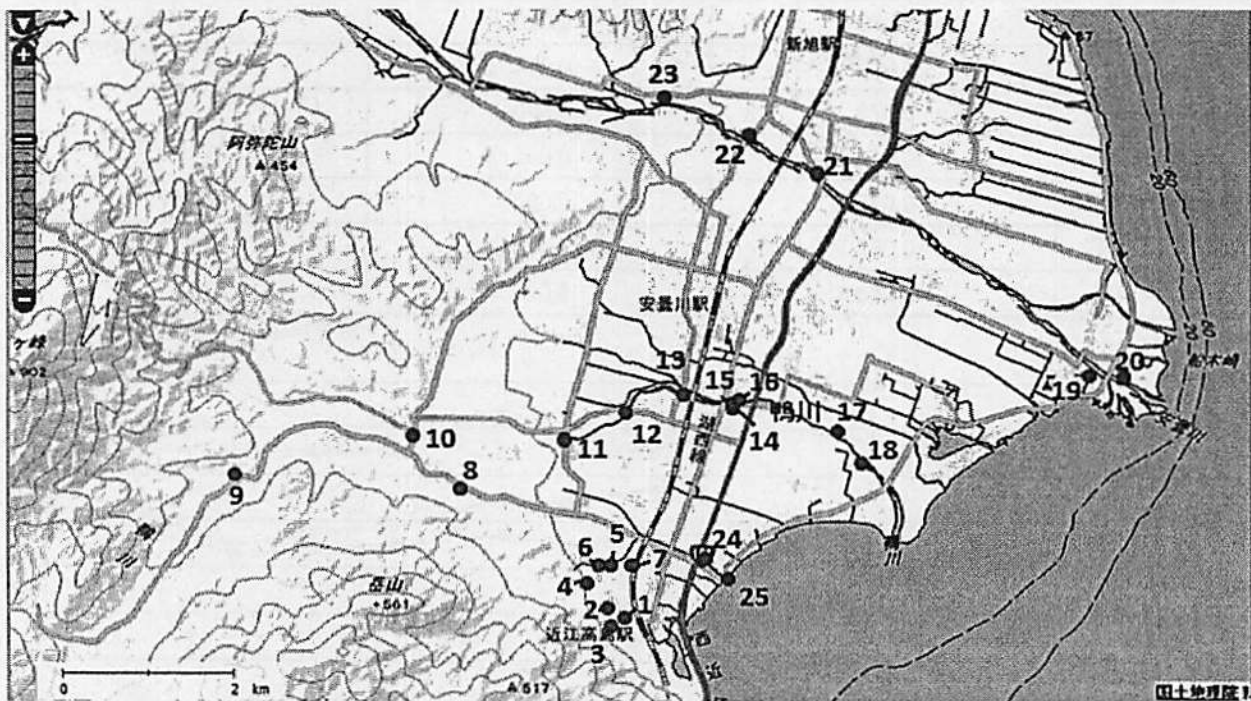


図4. 旧高島町内・旧安曇川町内等の空間線量率測定場所

表8. 玄米の放射能濃度検査結果

玄米 (Bq/kg)		
品種名	採取日	放射性セシウム
ササニシキ	9月8日	検出せず (<25)
コシヒカリ	9月9日	検出せず (<25)
コシヒカリ	9月11日	検出せず (<25)
コシヒカリ	9月11日	検出せず (<25)
コシヒカリ	9月11日	検出せず (<25)
コシヒカリ	9月11日	検出せず (<25)
生産地または採取地: 高島市 (琵琶湖からの逆水を用意として利用している受益区域の農地)		

表9. 鴨川周辺における農地の土壌の放射能濃度検査結果

農地の土壌			
採取日	採取地	放射性セシウム (Bq/kg)	含水率(%)
3月7日	高島市安曇川町下小川	6	37.6
	高島市安曇川町下小川	4	33.5
	高島市安曇川町下小川	4	35.4
	高島市安曇川町下小川	検出せず (<6.2)	32.4
	高島市安曇川町横江	検出せず (<5.8)	36.7
採取農地: 鴨川河川敷門扉よりおおむね半径1200mの範囲			

表10. かんがい用水の放射能濃度の検査結果

かんがい用水 (Bq/l)	
日付	放射性セシウム
9月12日	検出せず (<0.54)
3月10日	検出せず (<0.61)
採取場所: 鴨川第一段 揚水機場吸水槽	

表11. 琵琶湖水の放射能濃度の検査結果

琵琶湖水 (Bq/l)		
日付	採取地点	放射性セシウム
9/9	白髭浜沖	検出せず (<0.60)
	白浜沖	検出せず (<0.47)
	鴨川河口沖	検出せず (<0.48)
	安曇川沖	検出せず (<0.58)

()内の数値: 検出限界値

表12. 9月に実施した河川水、水道水、魚類の放射性セシウムの放射能濃度の検査結果

河川水 (Bq/ℓ)			水道水 (Bq/kg)			魚類 (Bq/kg)			
日付	採取地点	放射性セシウム	日付	採取地点	放射性セシウム	日付	採取場所	品種名	放射性セシウム
9/6	W1	検出せず (< 0.52)	9/12	打下浄水場	検出せず (< 0.59)	9/12	四津川沖	ビワマス	検出せず (< 25)
	W2	検出せず (< 0.52)		比良浄水場	検出せず (< 0.54)		高島市 四津川地先	ギンブナ	検出せず (< 25)
	W3	検出せず (< 0.51)			鴨川河口部		アユ	検出せず (< 25)	
	W4	検出せず (< 0.53)			鴨川沖500m		オオクチバス	検出せず (< 25)	
	W5	検出せず (< 0.59)			鴨川沖500m		ブルーギル	検出せず (< 25)	

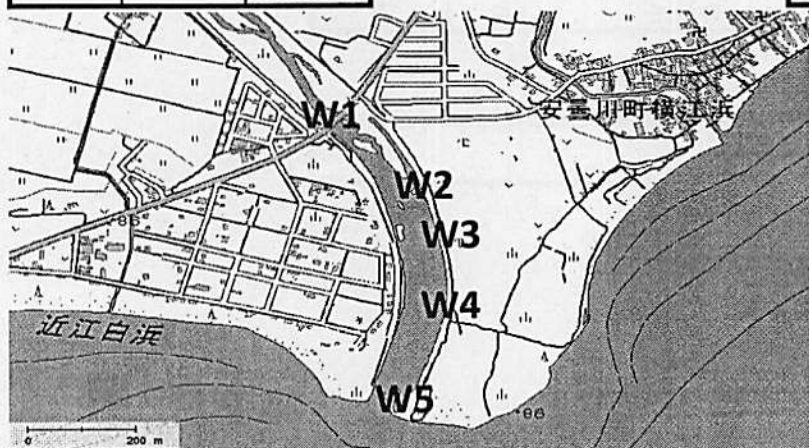


図5. 9月6日に採取した河川水の採取地点

表13. 環境モニタリングにおける放射性セシウムの放射能濃度の検査結果

年月	日付	河川水(1)	河川水(2)	水道水 (Bq/kg)		魚類 (Bq/kg)			
		(Bq/ℓ)	(Bq/ℓ)	日付	放射性セシウム	日付	放射性セシウム	品種名	採取場所
H25年 10月	10/1	検出せず (< 0.50)	検出せず (< 0.56)	10/28	検出せず (< 0.45)	10/21	検出せず (< 25)	オオクチ バス	鴨川沖
	10/17	検出せず (< 0.46)	検出せず (< 0.64)						
	10/29	検出せず (< 0.54)	検出せず (< 0.51)						
H25年 11月	11/12	検出せず (< 0.57)	検出せず (< 0.59)	11/25	検出せず (< 0.53)	11/27	検出せず (< 25)	オオクチ バス	鴨川沖
	11/26	検出せず (< 0.56)	検出せず (< 0.58)						
H25年 12月	12/10	検出せず (< 0.49)	検出せず (< 0.55)	12/24	検出せず (< 0.49)	12/25	検出せず (< 25)	オオクチ バス	鴨川沖
	12/24	検出せず (< 0.50)	検出せず (< 0.59)						
H26年 1月	1/7	検出せず (< 0.56)	検出せず (< 0.56)	1/21	検出せず (< 0.54)	1/16	検出せず (< 25)	オオクチ バス	高島市 安曇川町沖
	1/21	検出せず (< 0.57)	検出せず (< 0.47)						
H26年 2月	2/4	検出せず (< 0.54)	検出せず (< 0.60)	2/18	検出せず (< 0.49)	2/18	検出せず (< 25)	オオクチ バス	高島市安曇 川町沖
	2/18	検出せず (< 0.50)	検出せず (< 0.48)						
H26年 3月	3/4	検出せず (< 0.51)	検出せず (< 0.68)	3/10	検出せず (< 0.49)	3/11	いずれも 検出せず (< 25)	アユ ギンブナ オオクチバス	高島市安曇 川町沖
採取 場所	鴨川河口左岸の2地点で採水			高島市打下浄水場		鴨川沖 ※冬期においては対象魚の生息状況により採取 が困難なため高島市安曇川沖で採取 ()内の数値: 検出限界値			

参考. 検査対象ごとの検査項目、方法、分析機関一覧

検査対象	検査項目	検査方法	分析機関
土壌	放射性セシウム濃度	ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法	衛生科学センター
かんがい用水			
琵琶湖水			
河川水			
水道水		NaIシンチレーションスペクトロメータによる分析	
玄米			
魚類			
空間線量率	空間線量率	NaIシンチレーションサーベイメータ(高さ1m)	-